

「日本語を教えるのではない。  
日本語でつながるんだ。」

# 日本語学習支援者 になるための講座

地域に暮らす外国人って  
どんな人がいるの？

多文化共生って？

「日本語」をキーワードに、外国人住民と地域でともに暮らすことを目指して、多文化共生、やさしい日本語でのコミュニケーションなどについて、受講者同士でともに考えながら学びます。

日本語教師の資格や、外国語のスキルは不要です。  
地域の外国人と日本語でコミュニケーションしたい方、  
日本語学習支援者として活動したいと考えている方が対象です。



**日時** 2026年5月30日、6月6日、6月13日  
13:30~16:30  
全3回 すべて土曜日

**対象** 札幌市内または近郊にお住まいの高校生以上の方で、  
全3回の講座に出席できる方。  
※過去に本講座を修了した方は対象外です。

**定員** 40名 (先着)

## 申込方法

5月11日 (月) 9:00 から

申込フォームからお申し込みください



<https://plaza.kjpro.ne.jp/?id=247>

会場・詳細なプログラムは裏面をご覧ください。

主催・問い合わせ：(公財) 札幌国際プラザ

011-211-2105

nihongo[at]plaza-sapporo.or.jp

[at]を@にかえてお送りください。

<p><b>第1回</b> 5月30日(土) 13:30-16:30 @ACU大研修室1606 (札幌市中央区北4条 西5丁目アスティ45 16F)</p>	<p>※第1回は、オープンセミナーとして実施します。</p> <p><b>セミナー「外国人とともに暮らすためのことばとコミュニケーション」</b> 講師：特定非営利活動法人 国際活動市民中心 (CINGA) コーディネーター 新居 みどり 氏</p> <p>札幌で暮らす外国人が増える中、多様な人々とどのようにつながっていくのか、講師の話やワークショップを通じて一緒に考えてみませんか。</p>
<p><b>第2回</b> 6月6日(土) 13:30-16:30 @札幌国際プラザ (中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3F)</p>	<p><b>第1部：「やさしい日本語」とコミュニケーションのための日本語の特徴</b> 講師：札幌市地域日本語教育コーディネーター 式部 絢子</p> <p>日本語で多様な外国人とコミュニケーションをとるときに知っておきたい日本語の特徴を、「日本語を学習している外国人の視点」から考えます。</p> <p><b>第2部：会話実践</b> これまで学んだことを意識しながら、実際に外国人と会話してみましょう！</p>
<p><b>第3回</b> 6月13日(土) 13:30-16:30 @札幌国際プラザ (中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3F)</p>	<p><b>第1部：ふりかえり</b> これまで学んだことをふりかえり、相互理解を目指す活動や、日本語学習支援をどのように展開させていくのか、多文化共生社会を実現するためにそれぞれができることを考えてみましょう。</p> <p><b>第2部：地域日本語ボランティア教室とのマッチング</b> 札幌市内で活動する日本語ボランティア教室の方とお話して、どのような活動をしているのかを知り、今後の活動につなげましょう。</p>

## 講師紹介

### 第1回講師

#### 特定非営利活動法人 国際活動市民中心 (CINGA) コーディネーター 新居 みどり 氏

大学卒業後、青年海外協力隊員としてルーマニアに赴任。帰国してからは早稲田大学と同大学院で多文化共生について学ぶ。東京外国語大学多言語多文化共生センターのコーディネーターを経て、2011年にCINGA入職。東京都外国人新型コロナ生活相談センター及び外国人技能実習機構母国語相談センター統括コーディネーター兼務。法務省「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」に関する有識者会議委員、文化庁「日本語教師の資格に関する調査研究協力者会議」委員

### 第2回講師

#### 札幌市地域日本語教育コーディネーター 式部 絢子

海外4か国で日本語教育に携わる。日本語教育専門家として国際交流基金ケルン日本文化会館(ドイツ)に赴任。帰国後は、大学の日本語教育と道内自治体の多文化共生事業に関わる。2018年、在住外国人わずか3名の秩父別町で共生を大真面目に話し合う「ちっぶ100人サミットご近所さんは外国人？」を開催。2026年4月から札幌国際プラザ勤務。札幌市教育委員会「日本語能力判定コーディネーター」。

